

## 別表 1

基本原則 U-12(12 歳以下)および U-15(15 歳以下)の年代の試合に適用する ラグビーの競技規則は、World Rugby が定める競技規則に準拠する。また、日本協会制定の高専・高校以下の為の 特別競技規則の該当する条項に関してはその趣旨を認識し準拠する。その中で U-15(15 歳以下)、U-12(12 歳以下)に適用する独自の競技規則については、U-15 ジュニアラグビー競技規則、U-12 ミニラグビー競技規則において規定する。

U12、U15 における禁止行為	根拠となる競技規則 (国内)		
	U19	U15	U12
頭突き、体当たりおよび頭の下がったタックル	第9条30.	第9条30.	第9条30.b.e.
ボールを持っているプレーヤーが故意に肘または膝を前に出して相手にあたる	第9条31.		
いずれのプレーヤーもモールへ参加する場合を含めて、全てのプレーや局面において頭を肩や腰より低く (ローヘッド) するプレーをすること。	第9条32.		第9条30.f.
〔具体例〕 ・ ラックの形成前からラック・モール形成時を含めた全てのプレーにおいて、故意、あるいは継続的に顔を下に向け、肩や腰よりも頭を下げたままのプレー ・ ボールの位置から離れたスイーブや頭が下がる突っ込み ・ブリッジング、或いはボールに対して蓋をするような行為		第9条30.	
無謀な、または、他者に対して危険な行為			第9条30.g.
〔具体例〕 ・ 胸部よりも上への働きかけ (頸部及び頭部へのハンドオフを含む) ・ ノーバインドタックル ・ 襟を掴む ・ 後ろ等から肩口を掴む ・ 引き倒す ・ 振り回す ・ 突き倒す (押し倒す) ・ 頭突き ・ 逆ヘッドとなるタックル		第9条30.	
防御の際に、相手をしっかりバインドせずに振り回す行為			第9条30.a.
フェンドオフ (腕を横に振り、相手を払い除けるプレー)			第9条30.c.
地上にあるオープンボールを相手陣に強く蹴り込む行為			第9条30.h.
タックルされたプレーヤー、あるいは地面に倒れたプレーヤーが、身体と地面の間にボールを確保し足の間からボールを後方に押し出すプレー (スクイーズボール)	第14条11.	第14条11.	

### 【参照】

平成 30 年度改訂版競技規則 日本ラグビー協会発行

- ・ 19 歳未満 国内高専・高校以下用競技規則 ※U19
- ・ U - 15 ジュニアラグビー競技規則 ※U15
- ・ U - 12 ミニラグビー競技規則 ※U12